

## 森元総理の「失言」

森元総理のオリンピック委員会での発言が問題になって、野党はじめ、都知事までが「恥ずかしい限り」とか言い出して、結局森さんは、辞めざるを得なくなった。「女性の多い会議は長引く、云々」というもので、間違っていないじゃないか。小沢一郎とか(まだ水沢に帰ってなかったのか?)、何年たっても人気の出ない立憲民主党の枝野とか、小池(どれほど森さんの世話になったか忘れたのか)とか、恥ずかしいのはお前たちだ。20人くらいがリンチのように「恥ずかしい」を繰り返す。……森さんと言えば失言、と公式のように思っているのではないか。……失言のない森さんなんか、存在価値が疑われる。本音を語っての森ではないか。……このどうしようもない窮地からいかに脱出するか、が見どころなんじゃないのか。……ボランティアの中からも、そんなことを言うなら辞退します、というのが続出して、語学で役立とうとする人が、日本語を理解できないようでは、心許ない。初めからやる気などなかったのではないか？

非難の嵐の中、冷静に森さんの発言の「すべて」を読んで、非難しなかったのは、わが関西のお笑い芸人である小藪千豊ともう一人、若手の漫才師(名前は知らないが)の2人だけである。あとの野党の政治屋や小池などは、全部を読まずに、また理解することなく、「恥ずかしい」をくりかえしてただけになる。その方が恥ずかしいわ。……推理小説でも漫才でも落語でも、最初の「掴み」が大切で、そういう意味では、森さんの語ったことは、正しい。最初の一行で、これだけの反応があったのだから、お笑いの業界用語でいうところの「おいしい」聴衆である。